

浮き床栽培

浮き床栽培法での米作り実験 ～古代米の栽培比較～

—2005年—

この栽培記録は、休耕田の一部を借りてシートを張ってプール状にして雨水を貯め、発泡スチロール板で作った栽培床を水面に浮かべての実験栽培です。水中にはドジョウとフナが泳いでいます。

最近の健康食ブームから古代米の栄養価が見直されてきており、色々な古代米を耳にするようになりました。

2004年は、おこめナビの秋葉さんから黒米と赤米の種籾を分けて頂いて、初めて浮き床栽培での古代米栽培をしてみました。

2005年は、これとは又違う黒米で本物の古代米と言われているらしい「柴黒苑」という種類の種籾を今回も秋葉さんの紹介で実験栽培用に少し分けて頂きました。

今回はこちらで手に入りました三種類の古代米（黒米、赤米、柴黒苑）の栽培比較をしてみたいと思います。

昨年是一片の浮き床に36株（坪72株）でしたが、今年は45株（坪90株）植えてみました。ちょっと混み過ぎですが、生長途中で状態の悪い株を間引く予定で始めて見ます。

栽培記録

5月初旬に庭先に苗床を作り三種類の古代米をそれぞれ自然状態で種蒔きして育てました。

芝黒苑の発芽が一番早くて4～5日で芽を出してきて、次が赤米で1週間程度でした。

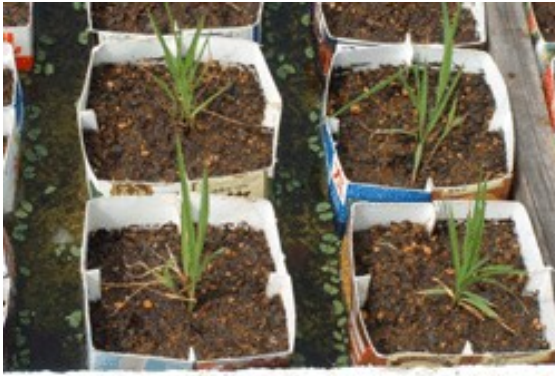
黒米は諦めて忘れた頃になってやっと芽を出してきましたが2週間程かかりました。

種蒔き前に種籾を充分水につけて置いてから蒔けばもっと早くなると思います。

発芽時期の違いがありましたが、田植えのできるような状態迄には黒米苗の成長も何とか追いついてきて写真のような状態までになって来ました。

苗の状態も黒米、赤米は一般の米の苗と同じ様に見えますが根元の茎をを見ると黒ずんでいるので古代米と分ります。

黒米と赤米の区別は付きません。芝黒苑は葉の広さや茎の太さが違って一見米の苗では無いような感じがします。



6月10日 三種類の苗の植え替え
 古代米 柴黒苑の苗は太くてしっかりしている。種蒔き後の発芽が一番早く5日程度で発芽率も良さそうです。



古代米 赤米苗の植え替え
 5月1日に、三種類の古代米の種籾を庭先の菜園に播いて苗作りをした



古代米 黒米苗の植え替え
 黒米は発芽が最も遅く二週間程度発芽後は苗の成長は追い付いて来た。



古代米苗の植え替え終了（全体）
 柴黒苑苗は畳二枚分で90株
 黒米と赤米は各畳一枚分45株



6月下旬
 黒米 しっかり根付いて成長して来ています。



柴黒苑 一般稲の苗とは少し違った様子に見えます。雑草のようなたくましさを感じます。先が楽しみです



赤米 こちらも順調です。
紙パックで作った紙ポットの2/3程度
の深さまで水に潜らせています。



古代米の浮き床栽培実験場の全体
水面には水草が一面に発生しています。
奥の方は休耕水田で雑草が伸びている



7月初旬
三種類の古代米共順調に生育中です。
プールの一番奥はケナフ栽培の浮き床



柴黒苑の生育状況



黒米の生育状況



赤米の生育状況



8月の浮き床栽培
一枚の浮き床に稲の株数が多すぎたよ
うですがそのまま進めてみます。



柴黒苑の生育状況
分蘖も生育も順調に進んでいたが一定
の所まで育つと止まってしまった様子



こちらは赤米です。
一番背丈が伸びていますが穂の出る
様子はまだ見えてきません。



8月初旬 黒米の生育状況
穂が出始めました。三種類の古代米の
中では一番早い出穂です。



稲穂の拡大画像（黒米でも白い花）
黒米の穂が出始めてきて可憐な稲の
白い花が咲いています。



8月中旬
手前は柴黒苑、右は赤米、奥の黒米の
穂先が下がり始めています。



黒米の生育状況
株が混んでいる事もありますが倒伏
し易いように見えます。



赤米の生育状況
やっと赤い稲穂が出始めてきました
穂のノゲが長く観賞用としても最適



柴黒苑の生育状況
成長が止まっているような状況です
葉はうまいのか虫に食べられています



8月下旬の状態
手前が黒米、奥が赤米、右の浮き床二枚
分が柴黒苑、成長の違いが良く分ります



柴黒苑と赤米の生育状況
赤米の方は穂が出揃っていますが
芝黒苑はご覧の通りです。



黒米の生育状況
 稲株は水切り無しのまま育てています
 本当は根底まで浮かせれば良いのかも



10月6日
 赤米の刈り取り前の前の画像
 後ろは休耕田のひえや雑草です。



10月6日
 柴黒苑はまだまだ籾の生長時期です。
 収穫までにはまだ1ヶ月はかかりそう



10月中旬
 柴黒苑の穂先が下がり始めてきました
 が穂の出が短いので余り目立ちません。



ぼつんとこの稲だけが残ってしまった
 ので、鳥に食べられないように防鳥用
 ネットを被せてみました。



11月5日
 柴黒苑の刈り取り前の画像。ネットが
 外れていても鳥の害はありませんでした

三種類の古代米（黒米、赤米、柴黒苑）の栽培による収穫量の比較

黒米	0.5坪で	籾重量	1.2 kg	単純換算で10坪当り	720 kg
赤米	0.5坪で	籾重量	1.0kg	単純換算で10坪当り	600 kg
柴黒米	1.0坪で	籾重量	1.2 kg	単純換算で10坪当り	360 kg

以上の結果になりました。

籾重量から玄米にした場合はどの程度の割合に減量するのかはまだ計算できていませんが、こうして同じ条件で栽培して比較してみると栽培期間が短く、本格的な台風時期が来る前に収穫できる黒米の栽培が有利かと思える結果でした。